

会長就任のご挨拶

公益社団法人 日本海難防止協会 会長 明珍 幸一



このたび、6月23日付で公益社団法人日本海難防止協会の会長に就任致しました明珍でございます。

社会・経済活動の基盤である海運・水産業は、経済発展や人々の豊かな暮らしを支えるものであり、その安全・安心な海上活動及び海の環境を守ることは、海に携わる私たちにとっての使命であります。

日本海難防止協会は、戦後の混乱から高度成長への移行期で重大な海難が続発していた1958年(昭和33年)に発足しました。以降、海難防止や海洋汚染防止に関する調査研究や事業、そしてこれらに関する国際協力活動等を通じて、航行安全及び海洋汚染防止に寄与し、人々の暮らしの向上に貢献してきました。

私は、海事産業に高いご見識を持たれ、海難防止や海洋環境保全に多くの功績を残された池田会長の後任として、その責務の重さを痛切に感じているところであります。

近年、我々を取り巻く環境は大きな変化の時を迎えております。

脱炭素化に向けたメタノールやアンモニアなど新たな船舶燃料の導入、水素サプライチェーン構築に伴う大型液化水素運搬船受入れに係る航行安全対策等、様々な取組みが本格化しております。さらに、国際情勢の変動も重なり、航行の安全確保と環境保全はこれまで以上に重要性を増しており、変化への柔軟かつ迅速な対応が求められています。

このような大きく変動する環境にあって、皆様のご期待に応え、海の安全と環境を守り、そして豊かな暮らしに貢献すべく会長としての責務を果たしていく所存であります。

会員の皆様、国土交通省、海上保安庁をはじめ関係官庁並びに日本財団様、日本海事センター様、そして海運・水産業界など関係各位におかれましては、引き続き、ご指導、ご鞭撻、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、会長就任のご挨拶とさせていただきます。